

操作ガイド v2.1

本ガイドでは、競馬データ分析ツールのセットアップから日常的な使い方まで順を追って説明します。Pythonの知識がなくても、バッチファイルのダブルクリックだけで使えるよう設計されています。

料金プラン

	ライト	スタンダード	プレミアム
価格	15,000円	25,000円	40,000円
対応レース	3Rまで	12R全て	12R全て
散布図グラフ			
芝・ダート自動切替			
含水率自動取得			
Webアプリ形式	×		
TSVエクスポート	×		
初期サポート	×		
納品後修正	なし	1回	3回
納期	3日	5日	7日

スタンダード・プレミアムはブラウザで動作するWebアプリ形式での納品です。

納品ファイル一覧

main_analysis.py	データ収集・分析スクリプト本体	全プラン

app.py	Webアプリ本体（ブラウザ表示）	S・P
settings.txt	競馬場・日付・含水率などの設定ファイル	全プラン
run_analysis.bat	データ収集を起動するバッチファイル	全プラン
run_app.bat	Webアプリを起動するバッチファイル	S・P
install.bat	必要ライブラリを一括インストール（初回のみ）	全プラン
requirements.txt	依存ライブラリの一覧（install.batの補助用）	全プラン
generate_demo_data.py	デモ用含水率データを自動生成するスクリプト	全プラン
含水率.xlsx	含水率・クッション値の履歴データ（デモ用）	全プラン
data/ フォルダ	取得したレースデータの保存先	全プラン
output/ フォルダ	生成したグラフ・CSVの保存先	全プラン

S=スタンダード、P=プレミアム

初回セットアップ（最初の1回だけ）

STEP 1

ファイルを配置してinstall.batを実行

納品ファイルをすべて同じフォルダにまとめてください。

main_analysis.py

app.py（スタンダード・プレミアムのみ）

settings.txt

run_analysis.bat / run_app.bat / install.bat

requirements.txt

generate_demo_data.py

install.bat をダブルクリックしてください。

「Installation complete!」と表示されたら完了です。この操作は最初の1回だけです。

STEP 2

デモ用含水率データを生成する

含水率.xlsx はデモ用データファイルです。generate_demo_data.py を実行すると自動生成されます。

Windowsの場合	コマンドプロンプトで python generate_demo_data.py を実行
Macの場合	ターミナルで python3 generate_demo_data.py を実行

実行すると 含水率.xlsx（JRA全10競馬場・2023～2025年分・1248行）が生成されます。

含水率.xlsxについて

このファイルは過去の含水率・クッション値のデータです。実際のデータを手元に持っている場合は、以下の形式でExcelに入力して置き換えると、より精度の高い分析ができます。

date	レース日	2025-02-15
venue	競馬場名	東京
cushion	クッション値	10.1
moisture	含水率（芝）	14.7
surface	芝 または ダート	芝

含水率はJRAの公式サイト（race.jra.go.jp）の馬場情報ページで毎週公開されています。

STEP 3

前日夜：settings.txtを設定する

settings.txt をメモ帳で開き、以下の項目を入力して保存してください。

競馬場	東京	JRA全10競馬場に対応
レース日	2026.2.15	西暦.月.日の形式（開催日を指定）
クッション値	auto	auto = JRAサイトから自動取得
芝含水率	auto	auto = JRAサイトから自動取得
ダート含水率	auto	auto = JRAサイトから自動取得
スクレイピング	True	True = 自動取得 / False = 前回データ再利用

クッション値・含水率を auto にしておくとJRAサイトから自動取得します。手動入力する場合は数値を直接入力してください（例：10.1）

レース日は必ず開催日（土曜または日曜）を指定してください。

STEP 4

前日夜：データを自動収集する（約30分）

run_analysis.bat をダブルクリックしてください。

黒い画面（コマンドプロンプト）が自動で開き、処理が始まります。驚かないでください！正常な動作です。

JRAサイトから含水率・クッション値を自動取得

netkeibaから開催日番号を自動取得

1R～12Rの出走馬データを自動収集（約30分）

data/ フォルダに各レースのデータを保存

output/ フォルダにグラフ（PNG）とCSVを保存

「Done!」と表示されたら完了です。そのまま画面を閉じてOKです。

所要時間：約30分（12R分）

実行中はPCをスリープさせないようにしてください。

STEP 5

当日朝：分析画面を開く

run_app.bat をダブルクリックしてください。（スタンダード・プレミアムのみ）

数秒でブラウザが自動的に開き、分析画面が表示されます。

上部のタブでレース（1R～12R）を切り替え

左側の散布図でグラフ全体を確認

右側の馬リストで気になる馬名をクリック 個別分析画面に切り替わる

馬名検索ボックスで特定の馬を素早く検索

TSV出力ボタンでデータをファイルに書き出し

終了するときは黒い画面を閉じるか、Ctrl+C を押してください。

前回のデータを再利用する（時短）

含水率・クッション値だけ変えたい場合は、スクレイピング不要で数秒で完了します。

settings.txt の スクレイピング = False に変更

芝含水率・ダート含水率・クッション値を当日の値に更新（または auto のまま）

run_app.bat をダブルクリック 数秒でブラウザが開く

推奨運用：前日夜にスクレイピング = True で実行
当日朝9:30以降に含水率のみ更新してrun_app.batを起動

グラフの見方

グラフの横軸がクッション値、縦軸が含水率です。金色の十字線（ ）が今回のレース条件を表します。

十字線の中心に最も近い 赤 を探すのが基本的な使い方です。

	赤	今回と同じ距離で3着以内 最有力候補！
	赤	別の距離で3着以内 注目馬

	青	今回と同じ距離で4着以下 参考
×	青	別の距離で4着以下 要注意
	金	今回のレース条件（含水率・クッション値の交点）

金色の十字線（ターゲット）を確認する
十字線の近くにある 赤 の馬が最有力候補
馬名をクリックして個別グラフで詳しく確認

requirements.txt について

requirements.txt は、このツールが必要とするPythonライブラリの一覧ファイルです。

pandas	データの読み込み・集計・Excel出力
openpyxl	Excelファイル（.xlsx）の読み書き
matplotlib	散布図グラフの描画
numpy	数値計算
selenium	JRA・netkeibaサイトからのデータ自動取得
webdriver-manager	Chromeドライバーの自動管理
streamlit	ブラウザで動作するWebアプリの構築

通常はinstall.batを使ってください。Pythonに詳しい方は以下のコマンドでもインストールできます：

```
pip install -r requirements.txt
```

よくあるトラブルと対処法

黒い画面が一瞬で消える	Pythonが見つからない	install.batを再実行。それでもダメならPythonを再インストール。
Port 8501 is not available	前回のアプリが起動中	前回の黒い画面を先に閉じてからrun_app.batを再度起動。
グラフにデータが少ない	含水率とレースデータの日付・競馬場不一致	含水率.xlsxの日付・競馬場とレースデータが一致しているか確認。
含水率の自動取得が失敗する	JRAサイトの仕様変更	settings.txtで手動入力に切り替え（例：芝含水率 = 14.7）
開催日番号が01になる	netkeibaからの取得失敗	ネットワーク接続を確認。または当日のrace_idをnetkeibaで確認して手動入力も可。

ご利用上の注意

Python 3.8以上、Chrome（最新版）がインストールされた環境が必要です

requirements.txt

に記載の全ライブラリが必要です（install.batで一括インストール可）

JRAサイト・netkeibaの仕様変更により、自動取得が動作しなくなる場合があります

本ツールは馬券購入の結果を保証するものではありません

Windows 10/11 および macOS で動作確認済みです

実行中はインターネット接続が必要です

ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。良い競馬ライフを！